



～ 学校便り～

なつめ 4月号

〈編集・発行〉
鹿児島市立喜入小学校
〈発行日〉
令和2年4月17日

創立151年目の船出

こんな時だからこそ笑顔で



校長 内村 英人

びわ山は、今、萌葱色、若草色、鶉（ひな）色、深緑と、色とりどりの春の緑で鮮やかです。

令和2年度喜入小学校は、新1年生34人を迎え、全校児童250人でスタートしましたが、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大によって、創立151年目となる本年度は、例年と違う船出となりました。入学式は、参加者を制限し縮小した式次第で実施しました。PTA関係行事も緊急理事会を開き、PTA総会は中止しました。授業参観も1年生を除いて中止し、児童会行事である1年生を迎える会も上級生からのメッセージ放送のみにして中止・・・と、計画の見直しが相次いでいます。今後もしばらくは、このような対応が続くことが予想されます。

しかし、新年度が始まって約2週間の中で、子どもたちは、新しい先生や新しい教科書と出会い、新しい学びの生活を軌道に乗せつつあります。1年生は、少しずつ小学校生活に慣れてきて、2年生から6年生は、上級生としての学習や係の仕事、委員会等に毎日張り切って過ごしています。このような時だからこそ、全ての子どもが、今の新鮮な気持ちを持ち続け、伸びやかに健やかに成長する1年とするために、私たちは、知恵を出し合い、協働して、よりよい答えを創り出す努力が必要です。このような時だからこそ、子どもたちに希望を与える大人の笑顔が必要です。子どもを安心させ、勇気づけ、希望をもたせる言葉が必要です。子どもたちは、新鮮な気持ちでこの1年の目標を言葉にしました。職員も本校の教育目標、目指す子どもの姿、目指す教師像、目指す学校像を確認しました。古くから生活の中に節目をつくり、そこに祈りをこめて言葉にするという私たちの文化は、心や生活を豊かにする精神活動です。このような時であるからこそ、期待を込めて言葉にした目標の実現に向けての営みは、より尊さを増すように思います。

それでは、皆様とともに以下のことを共有し、よりよい学校づくりに努めてまいります。

経営理念	道は探せ、しなやかに切り開け、残り姿は美しく
学校教育目標	夢に向かって 学び 磨き 鍛える 喜入っ子の育成
校訓	至誠
目指す子どもの姿	学ぶ子ども 磨く子ども 鍛える子ども

本年度も、保護者・地域の皆様の御理解と御協力、御支援をよろしくお願いします。

【本年度の一事徹底事項】「元気なあいさつ」

朝、とてもきれいなあいさつをする高学年の子どもたちがいます。さわやかな気持ちになります。いい一日になりそうな気分になります。下学年の子どもたちにとって、美しいあいさつの仕方のよいお手本です。みんな、こんなあいさつができるようになるといいなあと思います。「元気な声」「立ち止まっておじぎ」「自分から進んで」この三つを心がけるように、御家庭でも声かけをお願いします。



これができるようになったら、次は、会釈ができる子どもを目指します。あいさつは、「つながり」をつくり、「つながり」を育む力があることを教えましょう。